関西大学 学部案内 2026

経済学部

FACULTY OF ECONOMICS

経済学科

経済政策コース

歴史・思想コース

産業・企業経済コース

国際経済コース

現実社会をロジックで読み解くために

関西大学 経済学部で身に付く 7つの力

経済学部の
リアルな学びを発信中!

1 興味を強みに変える力

50人以上の経済学者が多様なゼミを展開。あなたの興味に合わせてゼミを選べます。講義で学んだ理論を実践し、応用力を身に付ける場として、ゼミ活動での主体的な学びが経済学部の最大の魅力です!

＼ ゼミ紹介 ／

2 実践的な活動で育まれる課題解決力

多様なアウトプットを実践するゼミ活動では、フィールドワーク、ビジネスプランの策定、地方自治体への政策提言など、大学を飛び出して活動するゼミも多数あります。社会で必要となる視点やマナーと、社会課題に向き合う力が身に付きます。

＼ 先輩たちの活動 ／

3 主体的に行動・発信する力

各ゼミ対抗で研究の成果をプレゼンテーションするゼミナール大会や、2年次生を対象としたゼミ相談会、学園祭での模擬店出店など、ゼミ活動は正課の授業だけでなく正課外での活動を含めて、学生主導で進みます。多彩な活動経験を通して主体的に行動する力が身に付きます。

＼ ゼミ大会 ／

先輩たちはどんなことに興味があるの? ～経済学部ゼミナール大会のテーマ～

- リフレッシュ休暇でストレス社会脱却!
- 「終礼」で会話もアップ!業績もアップ!?
- スターバックスの値上げに関する戦略効果
- 運賃政策によって満員電車はなくせるか
- 未来の水を育む ～森林整備で水資源を守る～
- 人々の支出行動と地球温暖化の影響

ほか

4 グローバルな視点で経済を理解する力

外国語の運用能力だけでなく、国際経済に対する理解を深めるための留学プログラムを学部独自で実施。海外での経験が、帰国後の学びのモチベーションにつながり、その後の選択肢が大きく広がります。

短期留学
＼ プログラム ／

5 ICTを活用する力

入学初年度から少人数クラスで全員が履修する「経済学ワークショップ」では、パソコン必須のカリキュラムでICTリテラシーが身に付きます。パワーポイントを用いたプレゼンテーションの方法なども学び、人前で話す経験も得られます。

6 データを分析する力

実習系の科目も配置されており、政府が力を入れて育成している「デジタル推進人材」に必要な、統計やデータ分析スキルを身に付けることができます。

7 セルフブランディング力

興味を深く追究できる4つのコースで専門性を深め、ゼミ活動や長期留学、資格取得など、学生一人一人の目標に合わせて大学4年間を活用できる自由度の高いカリキュラムが魅力です。

＼ 履修モデル ／

経済政策コース　歴史・思想コース　産業・企業経済コース　国際経済コース

CONTENTS

▶関西大学経済学部で身に付く7つの力 …… P.01
▶カリキュラム …… P.03
▶経済学部生のイチオシ科目紹介 …… P.03
▶短期留学プログラム …… P.05
▶多種多様なゼミ …… P.07
▶経済学ワークショップ …… P.09
▶経済ツール入門 …… P.09
▶経商合同学内ゼミナール大会 …… P.10
▶教室を飛び出して活動する経済学部生 …… P.10
▶先輩の体験談 …… P.11
▶就職実績 …… P.13
▶大学院への進学 …… P.13
▶卒業生からのメッセージ …… P.14

興味・関心に応じて学べる4コース

カリキュラム

1・2年次で経済学の基礎能力を習得した上で、
3年次以降は各々の関心と目的に沿って4つのコースに分属し、　学びを深めます。

1年次

【導入科目】
- 経済ツール入門
- 現代経済入門
- 経済学ワークショップ
- ミクロ経済学入門 1
- マクロ経済学入門 2
- 統計学
- 経済史

① ミクロ経済学入門
モノやサービスを消費する消費者とそれを生産する企業の行動を分析します。また、消費者と企業をつなぐ市場（しじょう）の役割を考えます。

② マクロ経済学入門
日本、アメリカなど国ごとの経済活動を分析します。
GDP（国内総生産）、インフレ、失業はマクロ経済学のキーワードです。

2年次

【基本科目】
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 経済数学
- 経済統計学
- 経済情報処理論
- 計量経済学入門
- ゲーム理論
- 行動経済学 1
- 金融経済論
- 財政学
- 公共経済学
- 労働経済学
- 経済政策
- 日本経済論
- 国際経済学
- 日本経済史
- 社会思想史
- 政治経済学
- 簿記演習
- 商業簿記
- 工業簿記

3·4年次

【展開科目】

経済政策コース
- データ分析入門（原因と結果の経済学） 2
- 上級ミクロ経済学
- 金融政策
- 地方財政論
- 社会保障論
- 環境経済学
- 公共選択論
- 人口経済学
- 法と経済学

歴史・思想コース
- アジア経済史
- 西洋経済史
- 近代経済学史
- 経済学説史
- 制度の経済学

産業・企業経済コース
- 計量経済学
- 組織の経済学
- 産業組織論
- 中小企業論
- 流通経済論
- 地域経済論 3
- ビジネス・エコノミクス
- 人事経済学
- コーポレート・ファイナンス
- 会計学原理
- 財務諸表論

国際経済コース
- 上級マクロ経済学
- 経済成長論
- 実証国際経済学
- 国際金融論
- 経済発展論
- 中国経済論
- アジア・太平洋経済論
- アメリカ経済論
- EU経済論
- 国際政治経済学

コース共通
- 外国書研究
- 時事英語
- 実用英語研究（国際ビジネス英語）
- 経済学特殊講義
- 寄附講座
- 経済調査実習
- 海外経済研究
- 経済学特別演習

展開科目は、所属コースの枠を超えて履修が可能！

【実践科目】
- 経済学演習
- 卒業論文
- 経済学プロジェクト演習

【関連科目】
〈経営・会計〉
- 企業経営の組織と戦略
- ビジネス・マネジメント
- 保険経営論
- 市場と会計
- 財務会計論演習　など

〈法律・政治〉
- 民法
- 商法
- 経済法
- 労働法
- 公共政策学

※このカリキュラムは2025年度入学生用です。一部科目は変更される可能性があります

経済学部生のイチオシ科目紹介

1 行動経済学

私たちの経済活動の「心理学的な特徴」を明らかにする

行動経済学は、経済学と心理学とが合わさった分野で、私たちの経済活動の心理学的な側面に焦点を当てます。授業では、人を対象としたさまざまな心理・経済実験の結果について学びました。特に印象に残っているのはアンカリング効果で、被験者の商品に対する評価（その商品をいくらで買いたいと思うか）が、直前に頭をよぎった全く無関係な数字に大きく左右されてしまうという現象に驚きました。扱っているテーマが身近で分かりやすく、大変興味深いものでした。

4年次生
岸本 浩一智さん

2 データ分析入門（原因と結果の経済学）

データ分析と経済学を通じて社会のさまざまな問いに答える

「データ分析」の授業では、これまで学んできた経済理論が現実にどの程度あてはまるのかを、実際のデータを用いて検証します。近年、何かと話題に上がるデータ分析ですが、この授業を通じて、データ分析に必要な基本的な知識を習得することができます。例えば、企業が販売戦略を決める際、広告の効果を正確に測定することが求められます。経済学の知識とデータ分析のスキルを応用することで、このような問いに対して適切に答えることができるようになると感じています。

3年次生
田中 来実さん

3 地域経済論

理論と現実の両方から地域経済が抱える問題とその解決を考える

経済活動は地域を基盤に行われています。情報技術が発展し、グローバル経済が叫ばれる現在でも企業の立地や人が住む場所は特定の地域に集中します。地域経済論ではこうした地域に注目し、今日の経済を学びます。授業では、まずなぜ企業や人が特定の地域に集まるのかといった地域経済を作り出す基本的な理論を学んだ上で、地方圏における地域振興や大阪の経済的地盤沈下といった地方が抱える課題の解決について勉強をしています。

3年次生
島村 花菜子さん

※全てのページにおいて学生の年次は取材時のものです。

各プログラムの特徴や参加学生の声、フォトギャラリーを
学部HPで公開中

経済学部独自の留学制度 GoLDプログラム

海外での1週間で広がるその後の選択肢

経済学部教員による事前授業と全行程引率による
インプット・アウトプットの強化

現地企業への訪問や現地学生との
交流を通して培う国際的な視点

ベトナム（2025年度実施）ダナン大学

おすすめポイント

- 現地企業やさまざまな現場を訪問し、東南アジアの中でも成長率の高いベトナムの経済発展を考える
- 英語による講義や現地学生とのディスカッションを通じ、ベトナムの経済や文化を学び、経済学部の専門教育科目（2単位）として単位認定される
- 豊かな食文化はもちろん、世界遺産のホイアンなど歴史・文化スポットも充実

台湾（2026年度実施予定）国立高雄科技大学・台湾大学・玄奘大学

おすすめポイント

- 渡航前の事前授業から現地学生とコミュニケーションをとり、高い学習効果が期待できる
- 日本語、英語、中国語を使って、考え・調べ・まとめ、伝えるスキルを養い、経済学部の専門教育科目（2単位）として単位認定される
- 夜市での食べ歩きや、故宮博物院などの歴史・文化スポットも充実

参加学生の声

- 本プログラムでしか出会えない現地学生と交流できたことが素晴らしい経験となった
- 1週間は短すぎると思っていたが、みっちりとスケジュールが組まれ、とても濃厚で充実した留学期間を送れた
- 引率の学部教員が語学面だけでなく、経済学の知識をもって解説・サポートをしてくれるため学習効果が高まった
- 事前授業を通して仲間意識が高まり、一体感をもって渡航できたのが良かった
- 視野が広がり、学部内でも学年を越えた交流をもてた
- ホームステイではなく、現地学生の「素」の生活を一緒に体験できたのが良かった

参加学生インタビュー　台湾プログラムに参加

「現地学生との交流を通して自信がつき、留学に対する意欲が高まりました」

英語には少し苦手意識がありましたが、台湾の大学生たちと英語や日本語、ジェスチャーを使いながら意思疎通を図ることで、いつの間にか自分の中の英語へのハードルが低くなったように思います。印象に残っているのは、知り合った大学生たちの対応がみんな親切だったことと、自国の経済や政治を考えて大学で熱心に学んでいる様子です。このような刺激を1年次に得られて良かったですし、次は1カ月間のGoLDプログラムにもぜひ参加したいと思うようになりました。

1年次生
山向 周さん

外国語運用能力も経験値も上がる充実の1カ月

日本との違いを生活の中で日々発見しながら、
新しい視点や価値観を醸成

外国語科目の単位だけでなく、
国際経済への関心を高める専門科目の単位認定

オーストラリア（2025年度実施）西シドニー大学

おすすめポイント

- オーストラリア経済の中心地であるシドニーで経済学を学び、経済学部の専門教育科目（2単位）として単位認定される
- 習熟度別の少人数クラスで英語を学び、外国語科目（2単位）として単位認定される
- 多国籍の人々が集まるグローバルな街でホームステイを経験できる
- 週末はオペラハウスやハーバーブリッジのある美しい港町で自然も楽しめる

ニュージーランド（2026年度実施予定）ワイカト大学

おすすめポイント

- NZ首相をも輩出し、経済学・マネジメント分野で高い評価を得る大学で経済学を学び、経済学部の専門教育科目（2単位）として単位認定される
- 都会の喧騒から離れた緑あふれる広大なキャンパスで英語を学び、外国語科目（2単位）として単位認定される
- 自然豊かでアットホームな家庭でホームステイを経験できる
- 先住民族であるマオリ族の文化や生活に触れる機会もある

参加学生インタビュー　オーストラリアプログラムに参加

「多国籍な環境での学びを通して積極的に学び、話すことの重要性を実感しました」

オーストラリア・西シドニー大学に留学し、世界中から集まった学生と机を並べて学びました。将来のために意欲をもって学ぶ彼らと接するうちに、積極的に学ぶことや、たとえ外国語運用能力に自信がなくても臆さず意見を表明する姿勢の大切さを実感しました。また、現地の物価高や賃金の相場、家族を大切にする働き方など、日本とは違う経済・文化に触れたことで、将来を考える上での視野が広がったと感じています。

3年次生
吉田 彩乃さん

参加学生の声

- 参加者全員が経済学部生で、帰国後も交流を持ち続けられていることがうれしい
- ホームステイを通して現地の生活を体験でき、各国の文化や価値観を肌で感じられる魅力的なプログラムだった
- 留学先のキャンパスはきれいで、すれ違った人とあいさつをするような温かい雰囲気だった
- 現地の先生は陽気で優しい方が多かった
- 事前授業がとても楽しく、この仲間でオーストラリアに行くんだとワクワクした
- 1カ月間の留学は学業や他の予定と両立しやすいのもメリットで、今後、長期留学を考えている人にもオススメします
- 出発前から親身なサポートを受けられ、初めての留学でも安心して学ぶことができた

多種多様なゼミ

3年次からは50を超えるゼミのいずれかに所属することができ、少人数で研究内容を深めます。

開発経済学　山本 ゼミ

森林大国インドネシアでの調査を通して、途上国の開発と経済の関係について考える

インドネシアの農村に赴き、現地調査を行いました。

雑賀さん　山本ゼミでは貧困や労働、環境などさまざまな問題を通して途上国の経済について考えます。

青木さん　私たちのグループは、インドネシアにおける植林が及ぼす社会的影響について研究するため、ジャワ島中部のジョグジャカルタの農村で、10日間の現地調査を行いました。

山本先生　大学生が海外で調査を行うことは簡単ではありませんが、森林減少という地球規模の課題に、研究という形で触れられる経験はとても有意義だと思います。

雑賀さん　インドネシアは世界第3位の熱帯林面積を保有する一方で、急激な経済発展を続けています。開発が進むほど森林は減少するため、豊かな森林を保全する道筋を考えるために、現地の農民の方々への聞き取り調査を行いました。

青木さん　家族構成や収入など、現地農家の経済状況や森林保全への意識を調査し、農業活動と森林保全意識との相関関係を、データを用いて調べることが主な目的です。

慣れない環境の中で現地の人たちと打ち解け、調査を進める得難い経験ができました。

青木さん　インドネシアの文化や環境については事前に調査したつもりですが、現地では驚きと発見の連続でした。

雑賀さん　思っていたより農業に必要なインフラが整備されていないことが驚きで、環境整備や効率化が急務だと感じました。
また宗教的な問題で「投資」という言葉を使った調査項目に難色を示されるなど、予期せぬトラブルもありました。

青木さん　気候や環境の違いに戸惑うこともありましたが、雑賀さんが「しんどい時こそ口角を上げよう」と励ましてくれました。

3年次生 青木 桜子さん　3年次生 雑賀 瞳さん

雑賀さん　現地の方々もとても温かく、一緒に写真を撮ったり、食事をふるまってくれたり、良い思い出ばかりです。

青木さん　昼食にパッタを出されたときは少し驚きましたが、海老みたいでとてもおいしかったです。調査には現地の大学生も参加したのですが、英語でのやりとりを含めて、山本先生にたくさん助けていただきました。

山本先生　こうしたフィールドワークは地道な作業の連続です。二人も慣れない作業が続いて疲労がたまる中、周囲に積極的に話しかけるなど、調査を盛り上げようと頑張ってくれました。

調査・研究した成果を、どう伝えるのかを追求し、学内ゼミナール大会で優勝しました。

雑賀さん　帰国後、調査結果をまとめて、複数の大学が参加するインターゼミ大会と学内のゼミナール大会で発表を行いました。ゼミ活動として海外調査を行う事例は少なく、他大学の方々から好評をいただきました。

青木さん　ただし、私たちにとっては当たり前のことでも、初めて聞く人にはなかなか通じません。興味をもって聞いてもらえるように、スライドの表現や伝え方は特に試行錯誤を重ねました。

雑賀さん　ゼミのメンバーからもらった意見を反映させ、ブラッシュアップして挑んだ学内ゼミナール大会の研究発表部門では、優勝することができました。当初掲げていた目標の一つが達成でき、自信につながりました。

山本先生　学内ゼミナール大会の優勝には私も驚かされました。よくがんばったと思います。今回は大規模な調査ではありませんでしたが、それでも得られた成果は、森林保全を考える上で非常に貴重な価値をもっています。今後も精力的に研究を続けてください。

経済政策コース 山本 裕基先生

経済学説史　「自分と社会をめぐる『あたりまえ』を問いなおします」　中澤 ゼミ

歴史・思想コース 中澤 信彦教授

今までと異なる考え方や発想の仕方を身に付けていく

ゼミのテーマは「脱常識の社会経済学―『あたりまえ』を問いなおす」です。指導教員の専門が「経済学説史」という学際色の濃い分野であるため、経済学をベースに置きつつ、哲学・社会学・心理学・歴史学等の知見も積極的に活用して、ゼミ生自身の日常の素朴な疑問や悩みを出発点とした主体的な学びを推進しています。過去の研究テーマは、働き方改革・地域活性化・同調圧力・アイドル進化論など多岐にわたりますが、どんなテーマを選ぶ場合でも、強く深く徹底的に考え抜くことが要求されます。教室外での活動も、京都での座禅会・他大学との合同ゼミ・学園祭での模擬店出店など、とても活発です。

労働経済学　「労働に関するさまざまな分野を経済学の視点から追究します」　野坂 ゼミ

産業・企業経済コース 野坂 博南 教授

自身が働くことと経済全体のつながりを理解する

ワークライフバランスや女性の雇用、非正規雇用、外国人雇用、所得格差や貧困問題、教育と雇用の関係など、労働問題を中心にさまざまな分野を取り扱います。働くことは、学生の近い将来とも密接に関係するテーマです。就職活動に臨む前に労働に関する分野を学び、日本の働き方の特徴やその背景を研究することは、今後の生き方の重要な指針にもなるでしょう。研究においてはただ現象を追うのではなく、背後にある経済メカニズムを明らかにし、その根拠を客観的に示すデータの扱い方を身に付けてもらいます。最終的には、卒業論文を作成する分析力、構成力、文章力を付けてほしいと考えています。

政策提言　「大学の枠を超えた政策提言で地域経済を動かします」　後藤 ゼミ

国際経済コース 後藤 健太教授

現代の日本における地域産業・経済の発展をめざす

学生を主体とする実践的な政策提言型プロジェクト「SKIMA Project」を運営しています。このプロジェクトは各地方自治体と連携し、地域産業・経済の発展をめざすものです。学生が現地を訪れて実際に調査を行い、現実の発展・開発課題に向き合いながら考えを深め、問題解決へのアプローチ方法を探ります。市役所、市議会、企業、さらには近隣の自治体も巻き込む本気のプロジェクトですから、学生の言動にはとても大きな責任が伴います。コミットメントに対する自主性・考動力・チーム力が問われる中で、頭だけではなく体を動かす経験を通じて、グローバル社会を生き抜く力を身に付けてもらいたいと考えています。

経済学ワークショップ

経済学部生全員が1年次・2年次に履修する「経済学ワークショップ」では、グループで課題解決に取り組むPBL教育（Project-Based Learning）を導入しています。PBL教育では課題解決の方法を自分たちで一から主体的に考え、解決策を発表。グループワークの中で、ノートテイキングやプレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成などの基礎的スキルを身に付けながら、経済学部での学びや社会で役立つ基礎能力を養います。

少人数クラス制の実践的な学びで、主体的な課題解決スキルを身に付けます

経済学ワークショップⅠ（1年次春学期）

経済学部生としての学習に必要な情報収集能力、プレゼンテーション能力、レポート作成能力などを身に付けることを目的としています。

経済学ワークショップⅡ（2年次秋学期）

3年次以降の専門科目を学ぶ際に必要なデータ分析に関するさまざまな知識・技術を身に付けることを目的としています。

POINT

1. 専任教員がクラス担任となる少人数クラス制授業！
2. BYOD（Bring Your Own Device）対象科目となり、基本的には自身のパソコンを持ち込んで受講！
3. ワークショップⅡでは習熟度別のクラス編成に！

経済学ワークショップⅠ・Ⅱを受講した学生に聞きました

大迫さんの場合

「発表や論文執筆、データ分析など、経済学部での学びに不可欠な知識や技術を学びます。」

経済学ワークショップⅠでは、論文の書き方や研究発表の方法といった基礎的な力を身に付け、その集大成としてグループで「一泊二日の旅行プラン」を立て、発表しました。少人数制なので質問やディスカッションがしやすく、グループ発表でもうまく役割分担ができました。ワークショップⅡでは、主にExcelを使って統計やデータの可視化、回帰分析といったデータ分析の基礎を学びます。この科目で身に付けたデータの正しい捉え方や扱い方は、3・4年次のゼミでも大いに役立っています。ワークショップという「ステップ」を踏むことで、授業の専門性が高くなってきても無理なく学びを深められたと感じています。

4年次生
大迫 翔輝さん

■ 経済学ワークショップⅠの学びの例

STEP1	課題の把握	旅行プランを提供する客層や価格帯などの設定
STEP2	グループディスカッション	メンバーの出身地や認知度をもとに議論し、旅行先を決定
STEP3	情報収集・分析（授業内外）	歴史や観光地、ご当地グルメといった情報を収集・整理
STEP4	解決策の立案・発表	発表の印象度を高めるため、発表内容のコンセプトを明確化
STEP5	フィードバック・振り返り	コンセプトに沿ってプレゼン資料を作り込み、1位の評価を受ける

経済学ワークショップⅠで身に付いたこと

発表の準備を進める過程で、周囲と協力して課題に取り組む力が身に付きました

経済学ワークショップⅡで身に付いたこと

標本数や散布図の確認など、さまざまな方向からデータを吟味する力が身に付きました

経済ツール入門

経済学部の新入生を対象とし、これから大学で経済学を学んでいく上で最低限必要な数学知識を身に付け、それら数学知識が経済学にどのように活用されるのか認識してもらうことを目標とします。入学後のテストによって習熟度別の5クラス編成となるため、数学が得意な人も苦手な人も、安心して学ぶことができます。

苦手意識をもつのはもったいない！

経済学部で数学を学ぶメリット

- シンプルな考え方が基本！計算力よりも『なぜ？』を考える力が大切
- 道具のひとつ！使い方を学べば、経済の仕組みが見えてくる
- 実生活に直結！お金の流れや社会の仕組みを数字で理解できる
- 言葉よりも分かりやすく簡潔に説明できる手段が身に付く！社会に出ても武器になる

高校数学が得意じゃなくても、関西大学の経済学部では基礎から学べるカリキュラムが充実！

数学は「地図」のようなもので、
地図があれば迷わずに
目的地（経済の答え）にたどり着ける！

経商合同学内ゼミナール大会

経済学部・商学部が合同で行っている学術大会です。さまざまなゼミから学生たちがチームを組んで参加し、約1年間にわたって学んできた研究成果の集大成を披露します。60回目を迎えた2024年度はプレゼンテーション部門、研究発表部門に分かれ、経済学部からは約100チームが参加しました。年に一度の貴重な機会を生かし、学生間でも積極的な意見交換がなされるなど、大いに盛り上がりました。

発表テーマ　**テーマパークのファストパス戦略の効果**

テーマパークが抱える課題を理論モデルで検証しました。

発表テーマを選んだきっかけは、テーマパークの顧客満足度が下がっているというニュースでした。コロナ禍の影響で混雑を嫌う人が増えたことが要因の一つだと知り、アトラクションに優先案内する「ファストパス」システムに注目。ファストパスの購入者は待ち時間を短縮でき、個々のアトラクションの行列が分散することでテーマパーク全体の混雑が緩和され、顧客満足度も向上すると考えました。この仮説をホテリング・モデルという理論モデルを用いて検証してみると、ファストパスによってテーマパーク全体の顧客満足度は上がるものの、混雑の緩和と利潤の増加につながるとは限らない、という考察結果が得られました。

チーム全員で入念に準備を重ね、優勝を手に入れました。

研究で力を入れたポイントは、精度の高い検証結果を導ける理論モデルを選ぶことと、数式から得られた結果をわかりやすく言語化することです。ゼミナール大会の2週間ほど前からは、毎日深夜までオンラインでミーティングを重ね、スライド資料を改善していきました。発表当日、数理モデルに対する質問をいただきましたが、対応できるように準備していたため、問題なく答えられたと思います。チームのメンバーがそれぞれの得意な分野で力を発揮したことで、学内ゼミナール大会の優勝をつかむことができました。

ゼミナール大会の裏側

本大会を実施・運営するのは「経済学部ゼミナール協議会」という学生団体！参加ゼミの募集から当日の運営までを経済学部生が担う、まさに学生主体の大会です。多くの関係者と協力しながら大きな企画を成し遂げること、運営者・参加者の両方の立場を理解して行動すること、活動に対して教職員からフィードバックを得られることは、学生にとって貴重な経験になっています。

教室を飛び出して活動する経済学部生

グローバルな環境で行動力がアップ！

日本で経済学を学びたいと考え、韓国から関西大学へ進学しました。国際寮で日本の学生と生活をともにしつつ、日本の言葉や文化をもっと深く知りたくて、経済学部生の主な学び舎である第2学舎内にある国際部の学生スタッフとしても活動中です。留学生や留学希望者のサポート業務を行うなかで、まわりの人と協力して組織を運営する力が身に付きました。さらに独自に日韓交流会を立ち上げ、現在は100人近くの仲間たちと交流を楽しんでいます。関西大学には多様な国や地域からの留学生が多く、日本の学生とお互いを尊重しあうグローバルな環境が整っています。

3年次生
ジョン ナヨンさん

#韓国の高校では理系選択
#国際部学生スタッフ
#経済学部生は学舎内で国際交流を持てる
#経済学部成績優秀者として表彰

学びも課外活動も充実した大学生活！

経済学部はどの授業も刺激的で、自身の成長を感じられるのが魅力です。特に経済情報処理論やゲーム理論など、数学を活用して経済の仕組みを学ぶ授業では、数字を使って答えにたどり着くおもしろさがあります。さらに、勉学だけでなく、部活動や課外活動にも力を入れられる環境が整っています。私はバスケットボールに全力で取り組みながら、企業インターンシップにも参加し、充実した大学生活を送っています。経済学部での学びを通じて論理的思考力が鍛えられ、将来の選択肢が広がっていると感じます。

#経済学っておもしろい
#文武両道を極めたい
#バスケットボール3×3　U23日本代表
#インターンシップ生の中で準MVP獲得

3年次生
岩本 悠太さん

志望企業に内定した学生の体験談

株式会社JTB に内定

2025年3月卒業
井口 雄斗さん

入学時

人間の心や行動を経済的な視点から捉えてみたいと思った

高校時代は人間の心理や行動原理に興味があり、心理学を学ぶか、行動経済学を学ぶかで迷っていました。当時読んだ本の中に「人間は無意識に合理的な選択を行う」という一節があり、広い視野から経済活動を学ぶと面白そうだと考えました。また、オープンキャンパスや学園祭に参加した際に、千里山キャンパスの美しさや学生の活気に触れ、充実した学生生活を送ることができそうだと感じたので、入学を決めました。

1年次

経済学ワークショップを通して大学での学び方の基礎を身に付けた

経済学の基礎となる「ミクロ経済学入門」「マクロ経済学入門」を履修しました。特に「マクロ経済学入門」では、需要と供給の関係、所得、貯蓄、投資といった経済活動について、政府が合理的な選択を行っていることに面白さを感じました。また「経済学ワークショップI」では、学術情報の宝庫である図書館の利用方法や、文献の調べ方、発表の仕方を教わり、大学でどのように学んでいくのかを身に付けることができました。

2年次

留学を通して海外と日本の政策のあり方の違いを実感した

「経済政策」を受講し、明石市の子育て政策について学びました。子どもの医療費無償化、中学校の給食費の無償化などを通して、実際に明石市に人々が移住し、人口が増えている点が興味深いと感じました。また、国際部が主催する語学セミナーでカナダに1カ月留学しました。カナダでは医療費が無料で、日本との政策の違いを肌で実感。帰国後は国際部で留学生をサポートする学生スタッフとして活動を始めました。

3年次

ベトナムでの短期留学を通してめざしたい将来像が見えてきた

経済政策コースに進み、政策提言を行う本西ゼミに所属しました。春学期は関西電力との共同研究に取り組み、秋学期からは兵庫県丹波市との連携事業に参加。また就職活動直前には、経済学部が主催するベトナムでのGoLDプログラムにも参加しました。約1週間の短期留学でしたが、急速に経済成長を遂げているベトナムを肌で感じ、こうした経験を未来の中高生に届ける仕事がしたいと思うようになりました。

4年次

地域が抱える課題に対する政策提言が就職活動でも評価された

丹波市との共同研究の成果を卒業論文にまとめました。丹波市は若者が都市部に転出し、人口が減少しているという課題があります。そこで、まずは丹波市の知名度を高めることが必要だと考えました。食と自然に恵まれた地域なので、私たちのグループは「食フェス」を企画提案。研究活動については就職活動でもアピールし、自分たちで考え行動した一連のプロセスを評価してもらうことができました。

社会での活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A 講義やゼミ活動を通して、社会で起きていることに対して関心や疑問をもち、自分で調べる習慣がつきました。また、GoLDプログラムを通してベトナムの経済状況や政策について学び、思考の幅が広がりました。

Q 卒業後の目標は？

A 卒業後は旅行業界で働きます。自分が企画した旅行を通して、多くの方の価値観や考え方を変えるきっかけを作ることが目標です。また、将来的には地域活性化事業に携わり、自治体や地域の方々と連携してその土地ならではの魅力を広めていきたいです。

システムサポート に内定

2024年3月卒業
山本 菜々美さん

入学時

さまざまな視点から経済を学ぶことで進路の幅が広がると感じた

経済学にはマーケティングや会計、統計学やゲーム理論など幅広い隣接分野があり、それらを学ぶことで社会の成り立ちが理解できると考えました。また、得意な数学を生かして理論的な思考力を磨くことができ、進路の幅が広がると考えたことも経済学部を選択した理由です。関西大学には高校時代に所属していたサッカー部の試合で訪れたことがあり、キャンパスの広さやアクセスの良さ、学内や周辺の活気にも魅力を感じ、入学を決めました。

1年次

ミクロ経済学を学び、経済現象を論理的に考えることの面白さに触れた

ミクロ経済学とマクロ経済学を中心に、経済学の基礎を学びます。1年次には幅広い科目を履修しましたが、「ミクロ経済学入門」の授業で企業の販売戦略や価格設定について理論的に考えることの面白さに触れたことで、その後の学びの方向性が固まりました。また、「統計学」や「ツール入門」で習得した経済学の研究に不可欠な理論や手法は、その後のゼミ活動や卒業論文執筆においても大いに役立っています。

2年次

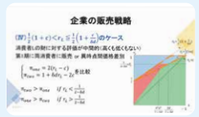
ステップアップする学びの中で自分の興味・関心をさらに深掘りする

社会にはどのような市場が存在し、そこでは企業がどのような行動をとっているのかなど、1年次に興味を抱いたミクロ経済学をさらに深掘りしました。他の科目でもより専門性が高まり、「行動経済学」や「ゲーム理論」といった人間の心理的な要素を含む分野にも関心が深まりました。また好きな数学を生かせる「簿記演習」も、複雑な式から答えにたどり着くプロセスが楽しく、検定に合格するほど勉強に打ち込みました。

3年次

ゼミ活動でプレゼン能力やチームワークを磨きゼミナール大会で部門優勝を収める

産業・企業経済コースに所属し、企業のマーケティングや戦略についてさらに学びを深めました。ゼミでは食品ロス問題の解決方法についてグループで考えました。研究内容をまとめる上では、伝わりやすい表現や文章構成について学び、協調性や積極性を発揮しながら自分の役割をこなすという意識も高まりました。チームとして成果を出すためのスキルが向上したことで、「経商合同学内ゼミナール大会」の研究発表部門（第5会場）で優勝することができました。



4年次

楽しく学べたことで成績優秀者に選ばれ就職活動でも大きなアピールポイントに

3年次の研究テーマをもとに卒業論文を執筆しました。その時の需要に合わせて価格を変える「ダイナミックプライシング」という仕組みを食品ロスの解決につなげようと考えましたが、当時は先行研究がなく、海外の論文を参考にしながらより現実の市場に近付けて考えるためのモデルを構築しました。経済学部の学びはいずれも楽しく、成績も自然と伸びました。学年の成績優秀者に選ばれ、就職活動でもアピールすることができました。

社会での活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A ゼミでは3度の大会に出場し、苦手だった人前での発表が克服できました。また経済や社会の動きを、理論的かつ粘り強く考えるうちに身に付いた思考力や継続力も、強みにつながったと感じています。

Q 卒業後の目標は？

A 卒業後はシフト管理システムなどを開発している企業で、システムエンジニアとして勤務する予定です。経済学部で身に付けた論理的思考力やコミュニケーション能力をさらに伸ばして、周囲から信頼され、愛される人間になることが目標です。

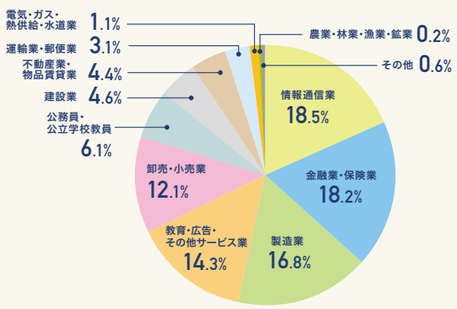
就職実績

手厚いキャリア支援を受け、希望する将来に進む

経済学部の卒業生は、メーカーをはじめ、金融・保険、情報通信、公務員など多様な分野に就職しています。本学はキャリア支援に力を入れており、毎年400社以上の企業を学内に招きセミナーを実施しています。学生の興味・関心の幅を広げる業界・企業研究セミナー等に加え、学内で実施する単独企業セミナーなど、多彩なプログラムを取り揃えています。

98.0%

■2024年度 業種別 就職状況



就職先の一例（2024年度実績）

情報通信業	インテック、内田洋行、SCSK、NTTデータ、NECソリューションイノベータ、MBSメディアホールディングス、オービック、TIS、西日本電信電話（NTT西日本）、日本アイ・ビー・エム、富士ソフト、富士通、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン、U−NEXT HOLDINGS、リクルート　など
金融業・保険業	尼崎信用金庫、大阪シティ信用金庫、関西みらい銀行、紀陽銀行、京都銀行、ジェーシービー、商工組合中央金庫、住友生命保険、損害保険ジャパン、大和証券、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、東京海上日動火災保険、南都銀行、日本政策金融公庫、日本生命保険、野村證券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友カード、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行、りそなグループ　など
製造業	アイシン、NOK、カナデビア、川崎重工業、関西ペイント、キーエンス、神戸製鋼所、サカタインクス、三協立山、ジェイテクト、敷島製パン、シャープ、SCREENホールディングス、スズキ、積水化学工業、大王製紙、ダイキン工業、タカラスタンダード、東芝テック、東レ、トヨタ自動車、トヨタ紡織、日本信号、日本電気（NEC）、日本製鋼所、パナソニックグループ、不二製油、富士電機、富士フイルム、マキタ、三菱電機、村田製作所、横河電機　など
教育・広告・その他サービス業	JTB、セガサミーホールディングス、帝国データバンク、阪神高速道路、船井総合研究所、ベイカレント、マイナビ　など
卸売・小売業	因幡電機産業、岡谷鋼機、キヤノンマーケティングジャパン、興和、サンゲツ、セブン−イレブン・ジャパン、ダイワボウ情報システム、豊島、日本ハムマーケティング、ニトリ、阪和興業、富士薬品、山善、リコージャパン　など
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、財務専門官、国税専門官、法務省専門職員、裁判所事務官一般職、造幣局、大阪府職員、兵庫県職員、大阪市職員、堺市職員、大阪府教員、和歌山県警察官、豊中市消防吏員　など
建設業	一条工務店、住友林業、大成建設、大和ハウス工業、長谷工コーポレーション、パナソニック ホームズ、LIXIL、リンナイ　など
不動産業・物品賃貸業	野村不動産、三井住友トラスト・パナソニックファイナンス　など
運輸業・郵便業	近畿日本鉄道、住友倉庫、西日本旅客鉄道（JR西日本）、日本郵便、日本航空（JAL）、東日本旅客鉄道（JR東日本）、三菱倉庫　など
電気・ガス・熱供給・水道業	関西電力、中国電力、メタウォーター　など

※原則として業種別、50音順で記載しています

大学院への進学

早期卒業制度を利用して5年間での大学院修了も可能

働き方改革による柔軟な働き方の拡大や労働市場の活性化が進む中で、「ジョブ型」制度の導入が進んでいます。ジョブ型雇用では、専門知識を有した人材が必要とされることから、大学院で高度な知識を身に付けた人がますます求められます。また、グローバル化社会の中では、海外で働く可能性も想定され、修士号が専門知識や課題解決能力への評価につながることもあります。

経済学部では、本学経済学研究科への進学をめざす、学業成績が優秀な学生を対象に3年間の在学期間で卒業を認める制度を設けています。

経済学部 3年 → 経済学研究科 2年 → 5年で修士号取得

大学院で身に付く社会人基礎力

- **前に踏み出す力（アクション）**　主体性や実行力など
- **考え抜く力（シンキング）**　課題発見力・計画力・創造力など
- **チームで働く力（チームワーク）**　傾聴力・柔軟性・状況把握力など

前期課程（修士課程）修了後の就職先例

銀行・金融業	ゆうちょ銀行、中国銀行
コンサルタント、IT	アクセンチュア、デロイトトーマツ、日本総研情報サービス、LTEC株式会社
製造業	QIAGEN、P&G、村田製作所、TOWA株式会社、大同特殊鋼株式会社、マルチテック、レノボ・ジャパン
その他	帝国ホテル、楽天、OAG税理士法人、後期課程進学　など

経済学研究科
修士課程前期課程 1年次生
松山 春花さん

Q1 大学院に進学した理由は？

A 学部を3年間で早期卒業し、税理士をめざすために進学しました。税理士試験の一部科目が免除となる修士論文を書く予定です。大学院に進むことで税理士という仕事が大きく近づく点に魅力を感じました。

Q2 どんな研究に取り組んでいる？

A 2023年10月からスタートしたインボイス制度をテーマに研究しています。制度が移行したことで、理論上で得られる消費税収と実際の消費税収の差がどれくらい変化するか推計を行っています。

※「社会人基礎力」とは、の3つの能力（12の能力要素）から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が提唱したものです。

卒業生からのメッセージ

経済学部の卒業生は、国内外の経済を理論と実践から学んだ経験を生かし、幅広いフィールドで活躍しています。
先輩方から、現在のキャリアに在学中の学びがどのようにつながっているかを教えてもらいました。

経済学部で学んだ知識と経験を日々の授業に生かしています

大阪府立
池田高等学校

2024年3月卒業
川上 颯太さん

高校教員として
さまざまな業務を担当

生徒一人一人の能力や社会性を伸ばし、個性を生かせるように、学校運営に関するさまざまな業務に取り組んでいます。教員として生徒と共に過ごし、共に成長する瞬間に深い充実を感じます。生徒たちは支援の仕方を少し変えるだけで驚くほど成長することがあります。その成長に立ち会えることこそ、教員という仕事の一番のやりがいだと実感しています。今後も経済学を学んだ経験を生かし、生徒たちが日常生活で直面する経済的な課題や問題を広い視野で捉えられるような授業をめざします。

現在につながる在学中の学び

- **2年次　学校インターンシップに参加**　実習を経験し、将来の仕事について具体的なイメージをつかみました
- **3年次　ゼミナール大会に出場**　社会問題を理論的なフレームワークで考察しました
- **4年次　卒業論文の作成に注力**　大学生の課題提出に関する実情を明らかにしました

ゼミ活動で培ったプレゼンテーション能力が仕事に生かされています

田辺三菱製薬
株式会社

2019年3月卒業
樋口 加奈さん

MRとして診療所や病院、
薬局合わせて200件ほど
を担当

医療関係者に自社製品の紹介や医療情報を提供しています。自社製品を診療の一助としていただいた先生から感謝の言葉を頂いたり、自身の活動が最終的に患者さんへの貢献につながることがMR職の魅力です。在学中はゼミ活動を通して、地域経済に関する知識や、自ら考え行動する力、プレゼンテーション力を身に付けました。現在、患者さん一人一人に応じた治療提案を行う中で、在学中の経験が役立っています。

現在につながる在学中の学び

- **1年次　ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ**　経済学の基礎となる知識と考え方を身に付けました
- **3年次　ゼミ活動の一環で現地調査を行う**　社会の仕組みを知るために工場見学などを行いました
- **4年次　卒業論文の作成に注力**　「日本の医療と先発医薬品企業」をテーマに、医療現場の現状をまとめました

ゼミのプレゼンテーションを通して培った協働力が現在の業務にもつながっています

大同生命保険
株式会社

2019年3月卒業
清水 愛理さん

新契約引受の部署で
医療管理事務を担当

お客さまが生命保険に加入する際に、健康状態を記入いただく書類や、健康診断表などに不備がないかを確認する仕事を行っています。直接お客さまと接する機会は少ないですが、営業担当者から新契約の査定がスムーズに完了したため、お客さまから感謝の声をいただいたと報告を受けるたびに、自身の業務のやりがいを感じます。在学中はゼミ活動に力を入れ、毎週グループでプレゼンテーションを行いました。グループで役割を分担し、協力しながら期限までに一つの物事を達成する力は、現在の業務においても役立っています。

現在につながる在学中の学び

- **1年次　経済学の基礎を学ぶ**　ミクロ経済学・マクロ経済学の授業で基礎を身に付けました
- **2年次　研究の進め方を身に付ける**　プレゼンテーションを行い、情報収集力と伝達力を高めました
- **4年次　卒業論文の作成に注力**　「ディズニーランドはなぜリピーターが多いのか」をテーマに研究しました

在学中に得た業界分析と企業の意思決定の知識が日々の業務で生きています

パナソニックコネクト
株式会社

2016年3月卒業
柏原 貴之さん

業務用プロジェクター
などのマーケティング
を担当

プロジェクションマッピングなどで使われる業務用プロジェクターなどのソリューション提案を行っています。オリンピックや万博といった大規模なイベントから、教育機関・企業のお客様まで幅広く関われることが魅力です。大規模なイベントが終わった後に、来場者やメディアの方が「あのプロジェクションマッピングすごかったね〜」と感動する様子を見ると、とてもやりがいを感じます。在学中にゼミで学んだ業界分析や企業の意思決定に関する知識、そしてグループ発表で得た経験が、現在の業務に役立っています。

現在につながる在学中の学び

- **2年次　GoLDプログラムに参加**　アデレード大学で学び、グローバルに関わる仕事を志望するようになりました
- **3年次　ゼミ大会に出場**　グループでの準備、発表を経験し、組織の中で働くことを意識するようになりました
- **4年次　懸賞論文に応募**　ゼミのチームで懸賞論文に応募し、最優秀賞をいただきました

最新情報を手に入れよう！

経済学部 ホームページ

経済学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには、「経済学部ホームページ」をご確認ください。ゼミでの研究テーマを紹介する「ゼミPRESS」や学部独自で実施する「短期留学プログラム」など、学びの魅力に触れられるコンテンツが充実しています。

関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。

関大　入試　検索

/ クリック! \

関西大学の最新情報をチェックしよう!

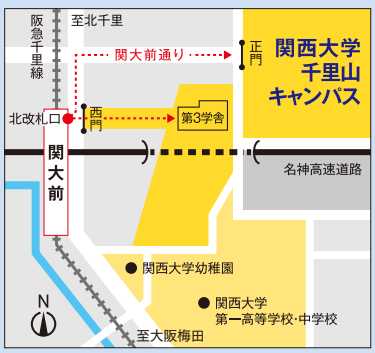
関西大学 入試センター LINE公式アカウント

友だち登録はこちらから!

関西大学 入試センター 公式Instagram

関西大学 入試広報グループ 公式 X

関西大学 入試センター 公式YouTube



大阪（大阪梅田）からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車（この間約20分）、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都（京都河原町）からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線（阪急電鉄に相互乗り入れ）が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず（方面）」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方（みなみかた）」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約30分）、すぐ。

大阪国際（伊丹）空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市（かどまし）」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車（この間約30分）、すぐ。

関西大学
経済学部
URL https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_eco/　〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
Tel.（06）6368-1121（大代表）